



会報 安来節

YASU GI BUSHI

発行所 安来節保存会

☎692-8686
島根県安来市安来町878-2
TEL 0854-23-8220
FAX 0854-23-8221
http://fish.miracle.ne.jp/~y-hozon
E-mail:y-hozon@tx.miracle.ne.jp

安来節演芸館



舞台イメージ図

さぎの湯温泉、足立美術館に隣接して建設中の『安来節演芸館』は、安来市の新しい観光スポットとしてさまざまな趣向を凝らし、準備が進んでいます。

安来節に関する展示室、売店棟、ドジョウ料理のレストラン棟。そして、なんといつても一番の目玉は安来節の常設館ということですよ。

安来節を上演する舞台のあるホールは、客席がステージから一段ごとに十二センチずつ上がっていき、六段目にはステージと同じ高さになり、後ろの席の方にも十分ご覧いただけます。座席は二階部分も合わせて二百三十三席、畳敷きで、舞台に向かつて花道もあります。広すぎないスペー

スが入客席と上演者との一体感を高め、臨場感あふれる舞台を楽しんでいただけのことと思います。

安来といえば安来節。そこへ行けば、安来節が聴ける、観られる、体感できる。そんな夢をかなえる『安来節演芸館』は今秋完成の予定です。

平成十七年度 唄い初め会

支部競演成績

- 安来市長賞 神門支部
- 安来市議会議長賞 米子中支部
- 安来市観光協会会長賞 加茂支部
- 安来商工会議所会頭賞 宍道支部
- 山陰放送賞 本部道場
- 足立美術館賞 和歌山支部
- 家納喜賞 出雲支部
- 天界酒造賞 益田支部

僕はどじょうである

髭がとらえたお話し

並河健蔵

僕はどじょうである、と突然申し上げても失礼だから、少々自己紹介をさせて

いただきたい。

わが輩と名乗りたいたが尊敬する夏目漱石先生のことろの猫に申し訳ない。次に俺と呼ぶには、とても気になる。つまりマツケンサンバのオレは威勢がよいが、オレオレ詐欺が猛威をふるっているから使う訳にはいかない。結局、僕が最もふさわしいし、俺より丁寧だ。ちよつと僕らどじょうの風貌や生態を思い浮かべてほしい。まず口の回りに生えている十本のひげで匂いを感じたり、食物を探すのだが、なかなか剽軽な顔に見える。魚の仲間とは、えらで呼吸するが、僕らはえらばかりでなく、空気を吸い込んで腸でも呼吸するのだ。その為に、時々体をくねらせながら水面に顔を出し、おならをするのは余った空気を出しているのだ。

そんな様子を見ると、とてもユーモラスで可愛いもんだ。安来弁でいう「いけざご」が、小学校の入学式に並んで、粋な恰好をしているような感じに受けとめてほしいのだ。だから「僕はどじょうである」と言わせてほしい。

僕の住まいは、東京は浅草の「駒形どぜう」なんだ。どじょう料理で有名な老舗だから、各地からどじょうが集まる。そして大きな盥

や桶の中でうじゃうじゃと体をくねらせ絡ませて住んでいる。この様子は人間さまには異様に映るらしいが、これがどじょうの生きざまといったところだ。

元来どじょうは、泥に潜ることや川底を素早く泳ぐのが特技だから、盥の中で仲間がもつれるのは、決して異状ではない。実はこの絡みあいの中で人間世界の古今の情報を手に入れていたのだ。つまり、ひげが捕らえた伝承というものだ。

さて「駒形どぜう」の今の当主は、六代目の越後屋助七さまだが、二百年ばかり前に、初代が浅草駒形町に店を開いたのが始まりと聞いている。暖簾の「どぜう」の文字は、元は「どじょう」だったものを、初代が縁起のよい奇数文字にした造語だという。初代のこの発想が功を奏して、益々繁盛して今日に至った。

現在の当主のモットーは「おいしく、お値打ちに、気持ちよく」で、折角浅草までおいで下さったお客さまが、味は勿論、見た目にも江戸を満喫してお帰り下されば、と常々言っている。だから僕らも当主の心意気に惚れこんで、いのちを預けているのだ。

四十年ばかり前の話だが、丁度東京オリンピックの開かれた年に、東京で銀行の長期研修を受けている三人の青年が、この店へ来て

「どぜう鍋」をたらふく食べたそうだが、その中の一人は、出雲は安来の住人で、初めて「どぜう鍋」を賞味して、大変喜んだという。安来といえば、安来節やどじょう揃い踊の本場なのに、

じょう揃い踊の本場なのに、いあって、盥の中で皆で笑いあっていたそう。今でも語り継がれている面白い逸話だ。ところで、どじょう揃い踊の根拠は、たたら製鉄の

かんな流しで土壌を崩すことにあるとの説があるが、とんでもない。僕らどじょう族の生態に由来するもの

だ。この踊について、まず男踊はともユーモラスで面白い。とくに第二節の逃げたどじょうをつかまえて魚籠の中に入れるまでの所作は、僕らでも息を呑む迫力がある。ただ三節目の足にひつついた蛭を苦勞してむしりとする所作では、蛭の生態をよく知っていて、初めて理解できるところだ。だから踊の始まる前にこの踊の見所をユーモラスに解説してほしいのだ。女踊は若々しく、お色気があって、よく受けている。

さて最新の情報によると、新生安来市では「やすぎどじょうブランド推進事業」が始まって、どじょうの養殖と名物料理などの開発普及に精力的に取り組んでいるらしい。僕らどじょう族も、このすばらしい事業の成功を心から祈っている。



名人 絃
二代目 安達順吉

昔の思い出

私は昭和五年頃から安来節を唄い始め、案外声もよく、町内の人気者とおだてられていた。その頃の父に三味線を習いにくる人がいて、一緒にやるうちに絃の方も面白くなり、昭和八年に安来節保存会に入会、九年には父の仁輪加友達であつた師匠・初代安達順吉宅へ通うようになった。師匠は当時、東京の木馬館や大阪の吉本等への勉強出演が多く、留守がちだつ

たので、踊りを習いに來ていた人たちと一緒に練習したものだ。お盆になると十五、十六、十七日と毎晩仁輪加に廻つて厳しい審査を受け、三日間で予選通過した者が十八日の夜、快樂座(日立坂を下りたところ)で決勝大会に出た。温交会という安来の芸妓さんの会の応援を得て、舞踊等を交えてのもので、大入満員大盛況であつた。幸いにも、私は昭和十年の大会に絃で優勝させてもらい、それが大きな励みとなつて今日まで続いたものと思つてゐる。

その頃は、安来節保存会の本部は山常楼にあり、女踊りの衣装等も置いてあつたので、演芸の依頼があつて本部から出演するときは、山常楼から借りて出かけた。初代お糸さんには格別可愛がられていた事もあつて、戦後二、三回大山及び外浜方面に出演させていたのだいこともある。以来、二代目、三代目、四代目とのお付き合い出演で安来節七十余年、幸い健康に恵まれてやつてこれた。今後は、錢太鼓はもとより、熟年部も加え、安来節がますます格調ある民謡になるよう一層の発展を祈つてやみません。



名人 踊
一宇川 勤

厳しく優しい教え

私が安来節に出会つたのは二十五年前。当時何も趣味の無かつた私を、友人が安来節を習いに行こうと誘つてくれたのがきっかけで、その時出会つた先生が丸瀬一宇師匠でした。はじめは唄を習いました安定せず、ずいぶん悩みな

がら何回か通ううちに「先生、どじょうすくいを教えてもらえんかね」「ええで、教えちゃいで」と、すぐ返事が返つてきました。それから、毎週ビデオカメラを持って先生の踊りの所作を撮影し、家に帰つて何回も繰り返し見ながら勉強しました。

一ヶ月もしないうちに、丸瀬一宇師匠から、「皆生温泉の旅館の舞台に出なさい」と言われ、まだまだ一、二、三と声を出して踊つていた私に「これからは舞台の上が勉強の場だ。舞台で鍛えてやる」と言われ、それから八年間ほとんど

私と安来節



独立一年



支部長
石倉喜充

昨年三月のこと。和歌山教室として十年目を迎え、記念発表会を開催しました。その際、松江支部、関西支部の先生方をお招きして「安来節」だけで一日我が和歌山の人に楽しんでもらいました。安来節には「どじょうすくい」だけではなく、独特の節回しの唄あり、リズムカルな錢太鼓もあることも知つていただきまし

た。まずは盛会のうちに終わることができ、同日、関西支部より独立し、和歌山支部としての設置認可を受けました。関西支部の支部長先生の温かいご支援、ご理解と近隣支部の先生方のご賛同の賜物と感謝しております。

支部として丸一年、初体験の事が多く一抹の不安もありましたが、ご支援下さつた先生方、また、安来節を習い始めたときから今日に至るまで、一度も休むことなく熱心にご指導頂いてい

るお二人の先生のためにも、心新たにして頑張る所存です。

幸いにして、和歌山支部の仲間は何事にも前向きで、陽気な明るい者の集まりです。本年もまた上を目指して頑張ります。

和歌山支部

へびけ歌声世界の空へ

瑞穂支部

支部結成二十八年



支部長
丸田金時

昭和五十二年三月、瑞穂支部が結成され早や二十八年になります。支部結成以前の私共が持つ安来節に対するイメージは、当地で家屋の建前等に唄われる「棟上節」として採み手の手拍子による安来節でした。

私たちが安来節と最初に出会つたのは、錢太鼓でした。練習を始めてから一年余り経過した頃だつたと思ひます。町内で他支部に所属する人、安来節に関心のある人の中から支部結成の話が持ち上がりました。新たに支部を作るには、八十名の会員を集めなくてはと会員募集に没頭した記憶がよくあ

らつていた石見支部の先生方のご尽力を頂き、会員八十余名でどうにか支部結成にこぎつけることができました。結成以来二十八年間、支部組織の充実に努力する中、保存会諸行事への積極的参加、施設等への慰問をはじめ各地のイベントへの参加、記念行事等の余興に参加等がなつていきました。しかしながら、他支部の方々からもよく耳にしますが、当支部も御多分に洩れず、会員の老齢化、配偶者の病気等によりやむなく脱会、長期欠席する人が多く、会員は激減してしまいました。新会員の募集に心がけ、勧誘は行うものの新規加入はここ数年間無く、会員の減少には歯止めが利かず大変苦慮しているところ

支部紹介

仁多支部



事務局長
藤井茂男

五名、実質三十二名の会員となつております。

民謡教室即保存会支部活動として、現在四教室での練習のほか、会員の技能向上を目指し、毎年本部講師を招いての特別講習会を実施しています。さらに、老人ホームの慰問、町文化祭その他への出演も積極的に行つてい

昭和五十四年三月、富田支部長の尽力で安来節保存会加茂支部仁多道場を開設、七月には仁多町公民館教室としての民謡教室を開設しました。その後、当時加茂支部長だつた出雲俊之助先生の深いご理解とお力添えにより新しく支部を発足することとなり、五十八年五月、仁多郡内安来節愛好者五十一名で仁多支部を結成しました。

以後、富田支部長の優れたリーダーシップ、熱心且つ懇切な指導、会員のたゆまぬ研鑽により、会員の資格も順調に昇格しているところ

会員の声コーナー

皆様の体験・ご意見等
自由にお寄せください。

安来節の輪



関東支部長
若岑 礼

関東支部発表会の行事が島根県人会の石倉義朗様に伝わり、十二月の四、五日の二日間、島根県主催の「縁結びの地、出雲路PRキャンペーン」が池袋のサンシャインシティ噴水広場のホールで行われるので出演してほしいとのご依頼を受けました。早速お引き受けし、一日二回公演で唄・踊り・銭太鼓で三十分の安来節ショーを行いました。まずはじめに松江市長の開会のご挨拶



東京支部長
棚橋 保

平成十七年度の安来節演芸館オープンに併せ地元産のドジョウ料理が味わえるレストランができることになることになると報じられている。さて、どんなドジョウ料理が出てくるのか気にかかるところだ。そこでNHK「さよふの健康」の顔、アナウンサー桜井洋子さんの発言に注目したい。それによると「いただきますふるさとの味」で全国各地を訪ね、郷土料理の奥深さを知った二年間で一番記憶に残っ

踊り覚書

どじょう(どぜう)と食文化

ているのは、宮城県のくりこま高原で食べたドジョウ料理だったということだ。名づけて「ふすべもち」。ついでに料理の仕方をきいてみよう。「ふすべもち」というのは方言でいぶすこと。まず田んぼでドジョウを捕まえる。一週間かけて泥を吐かせたあと、ムシロの上に広げてぬめりをとる。そして生きたまま竹の棒を刺して、それを炭の周りに並べていぶす。カラカラになったものを風通しのいいところに十日位干したあと、すり鉢ですって細かなパウダーにする。そのパウダーと、大根

とごぼうをすりおろしたものを、水を一滴も加えず鍋に入れて気長にかき混ぜもちを入れる。

どんな味がするか。何十種類ものスパイスを入れたような深い味で、まろやかで、そのおいしさに驚いたという。何より、この手間のかけ方がすごい。どうすれば貴重な蛋白源のドジョウを丸ごと全部使い切れるか、長年の知恵と工夫の結果こそがまさに食文化だ。

今年には踊りとドジョウ料理との交流でくりこま高原へ行くことにしている。

私と安来節の出会い



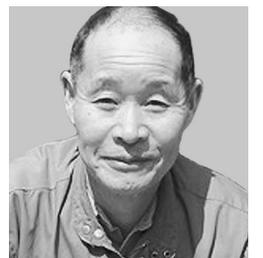
松山支部長
三本 善正

今から四十年前位前の話ですが、あるメーカーの全国招待旅行で九州へ行き、宴会も盛り上がった席で一人の若者が「どじょうすくい踊り」を始めました。今振り返ると、それはとうてい「どじょうすくい踊り」などというものではありませんでした。もちろん楽器は口三味線と手拍子でしたが、それでも私にとっては素晴らしいユーモラスな踊りに見えたのです。そのことがずっと頭のどこかにありまして、松山に安来節の教室があるの聞き、平成元年四月に松

山支部に入会させていただきました。安来節絃大師範石岡邦宏師と、踊り大師範安部寿樹師、唄大師範石岡君代師の三人の先生方を中心にして、各諸先輩の皆さんの温かい励ましと、きめ細かなご指導により平成二年に踊り飛び二級になったこと、嬉しくて今でも思い出すと感動します。ここまで来られたのも、諸先生方の温かいご指導とお力添えだと感謝いたしております。その松山支部も、平成十四年に創立二十周年を迎え、一つの大きな節目を飾りました。私自身も好きで始めて三年、夢中でやって五年、馬鹿といわれて十五年があつたという間に過ぎてしまいました。子供の頃から始められている皆さんと比較されれば、まだまだ自分も未熟なところが沢山ありますが、これから後輩の指導とともに自分も勉強したいと思つて頑張ります。

素唄 安来教室 かようてはいるが奥の深さに わしやなやむ

素唄を学ぼう



仁多支部長
富田とみお

保存会に入会して間もない頃、二代目出雲愛之助先生の特別移動講習会において、私はいきなり初段の詞を唄った。先生はやさしく「素唄を聞けば、その人の歌唱力がわかる」と言われ、ていねいに指導してくださいました。

三味線も、入会した年一級をもらい、優勝大会で優勝、あくる年初段になり、また優勝した。しかし、その翌年は准師範に上がれず、その次の年も落ちてしまった。でも、練習は欠かさずやってきた。以来三十年が過ぎ、現在では後輩を指導する立場になつているが、恥ずかしながら記述した。

三十数年続けてきて感じたこと。あきらめずに続けよう。素唄をしっかりと勉強しよう。

正調安来節銭太鼓教室

毎週土曜日 午後4時半より

- ◆ 場所 安来節保存会関東支部浅草道場 (浅草雷門左折徒歩30秒)
- ◆ 指導者 安来節保存会銭太鼓師範 阿部 洋二
- ◆ 指導料 1回 2,000円 (入会金ナシ)

浅草を中心に関東一円のネットを持つ銭太鼓教室。リズムに乗せて楽しさ一ぱい

〒111-0032 東京都台東区浅草1丁目18-3
TEL・FAX 03-3847-0215



正調安来節銭太鼓師範 阿部 洋二

安来節保存会 和歌山支部

楽しさ倍増 健康の源 安来節

新支部和歌山をよろしくお願い致します

和歌山市坂田744-14
TEL 073-473-6028 FAX 073-473-6029

優勝大会が変わります!



今年の安来節全国優勝大会から、かねてからの懸案だった熟年部と銭太鼓の部が加わることになりました。

熟年部の該当者は、今年五月末の時点で満七十歳以上、唄の師範の資格者です。予選会の段階から一般の部と熟年部に分かれて審査を受けますが、あくまで自己申告で、七十歳以上だからといって、熟年部に入らなければならぬというわけではありません。

銭太鼓の部は、一チーム五名以上で上限はありません。舞台でのびのび動ける人数で、チーム構成は一般の部、少年部を問わず、階級も問いません。息の合ったメンバーで、見事な演技を期待します。

演技は三番までで、遅打ちでも、早打ちでもかまいません。地方の資格は、大師範以下(研修会出席者に限る)で、鼓でも太鼓でも可です。

ブロックで予選をし、一チームを選抜。優勝大会に出場できるのは、予選通過メンバーを原則とします。

優勝大会の日程としては、銭太鼓は二日目、熟年部は三日目を予定しています。

掲 示 板

関東支部秋祭り発表会



関東支部は平成十六年十一月二十二日(祝日)に浅草木馬亭において恒例の秋まつり発表会を開催し、超満員の盛会でした。特に今年のテーマは、安来節の唄、絃の会員増強を目標にして、会員に關心を持ってもらおうと、原先生をゲストにお招きして唄・絃・鼓・踊の四種目の模範演技をしていただき、お客様たちも拍手喝采の盛況でした。

このような素晴らしい安来節の唄、絃が関東に増えない原因は、プロ歌手が一人としてステージで唄ってくれないからだと思います。それで発表会には「本荘追分」全国大会日本一の榮譽に輝いたコロンビア専属歌手の石川喜代美さんに安来節を唄っていただき、原先生から「さすがだね」という評価をいただきました。

今後は何とかしてプロ歌手にもアピールしてもらって、一般の方々に一人でも多く安来節に関心をもちてもらいたいと思っております。

現在では、浅草の雷門から徒歩三十秒の所に関東支部道場を設け、ここを中心として関東一円に唄・絃・鼓・踊・銭太鼓の勉強の場として、保存会の会員増強を目標に頑張っております。

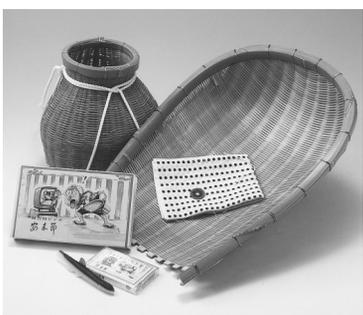
安来節全国優勝大会出場資格

◆ 熟年部 ◆

- 年齢
平成十七年五月末で七十歳以上の者
※但し、一般の部に登録するが、熟年部にするかは本人の自由とする。
- 資格
唄・師範
- 歌詞
字余り選定歌詞の短冊を引いたもの

◆ 銭太鼓の部 ◆

- 人数
一チーム五名以上で上限なし
- チーム構成
一般・少年・混成
- 資格
本年度資格審査受審者であれば、階級は問わない
- 演技
三番までで、早打ち遅打ちを問わない
- 伴奏
大師範以下(本年度研修会出席者)で、鼓も太鼓も可
- ブロックで一チーム



安来市観光協会では、ご注文に応じて安来節グッズの全国発送を承っております

〒692-0207 島根県安来市伯太町東母里580 TEL 0854-23-3340
安来市観光協会(安来市役所伯太庁舎内) FAX 0854-23-3382

東京上京の折に安来節のご指導をいただける方はご連絡下さい

安来節保存会 東京支部

事務局 東京都新宿区西新宿7-7-7
ハイライフ西新宿316号
TEL 03-3361-0488 FAX 03-3361-4293